|  |
| --- |
| NOLTYスコラプログラム効果測定のご報告（雛型） |
| ○○○○○○学校 | ○○○○年　○○月　○○日 | 作成者　　　　　　○○○　○○ |

[ご挨拶]

先生方におかれましては平素よりスコラ手帳のご指導にご協力いただきありがとうございます。この度、効果測定の結果より以下の傾向が見られましたのでご報告申し上げます。

このファイルはMicrosoft Office Word 2007で作成しています。お使いのバージョンにより表示が乱れることがございますのでご了承ください。

[導入の目的・狙う効果]

貴校の導入目的と行った指導をご記入ください。

・忘れ物を減らし、提出期限を意識させる

・計画的に学習を進める

・PDCAサイクルを身につける

生徒にスコラ手帳を定着させるため先生方のご協力のもと、以下の指導を行いました。

[指導]

・4月時点で目的と使い方のガイダンス

・集会への持参とメモを取るよう声がけ

貴校の効果測定の結果から任意の設問項目をお選びください。

・毎日のショートホームルームで持ち物やテスト範囲のメモを取るよう声がけ

効果測定の結果

「スコラを使う前と比べて、忘れ物や提出物遅れが減りましたか？」のグラフです。

「大幅に減った・減った・少し減った」と感じる生徒が「74％」でした。

生徒の様子も変化が見られます。「校内では常に持ち歩き、ショートホームルームで連絡事項を伝えるとき手帳に自然とメモを取る生徒が増えました。」（先生からご覧になった生徒の変化）

【デザイン】または【マウス右クリック】から【データの編集】を選び、数字を変更すると表が自動で更新されます。

タイトルはテキスト変更できます。

お声がけをいただきました先生方、ご協力ありがとうございました。

NOLTYプランナーズの分析では1日のうちでスコラ手帳を3回以上開き、たくさん書いている生徒は家庭学習時間が増え、生活習慣がよくなることが分かっています。

先生方におかれましては

・起床時間・就寝時間の記録するよう声がけ

・毎日のショートホームルームで持ち物やテスト範囲のメモを取るよう声がけ

・授業内で次回の持ち物やテスト範囲のメモを取るよう声がけ

引き続きご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

指導内容は一例です。